

皆さん、こんにちは。私はカヤ・セルヴィークと申します。今日は日本の剣術と居合道の話をしてと思います。

私は、二千五年の冬にオスロで剣術を練習し始めました。周りの人にこれを言うとノルウェー人でも日本人でも、ほとんど剣術とは何かという説明をしなくてはなりません。なぜならみんな剣術と剣道は同じだと思っているからです。

剣道では剣で戦うことを学ぶのですが、剣術は「型」を学ぶことを通して技術を習得することです。剣術では、剣道のように自由に動かずに、練習では正確な構えと型を目標にして練習します。従って、同じ型と構えを何度も繰り返し、完璧さを追い求める忍耐力が必要なのです。

そのせいか、剣術は剣道ほど一般の人に広く受け入れられていません。その冬、私と一緒に剣術を練習し始めた人の中で、ほとんどの人が数週間以内に諦めました。しかし、私は意外と我慢強いので練習を続けられたのです。

それから五年後、日本に留学している間に、大阪で居合道を練習し始めました。居合道は剣術と同じで、型の習得を目標としていますが、木刀ではなく本物の刀を使います。

初めて居合道の練習に行った時は、道場が狭くて、少し怖かったです。年上の男性ばかりで、濃い青色の袴と上着を着て、刀を振り回していました。狭い道場の前に日本の旗が掲げられていて、国家主義の集団なのかと、ふと、不安になりました。当然それは間違いでしたが、年上の先生が一番年下の男性をしかっていたので、オスロの剣術の環境とはだいぶ違うのだと感じました。

2回目実際に練習に参加するために道場に行きました。とても怖かったのですが、何とかその気持ちを抑えて、練習に参加して本当に良かったのです。この間、後輩をしかっていた先生は優しくて穏やかに型を教えてくれ、うまくできなかった時先輩の人達がにこやかに教えてくれました。大阪弁は難しいと思いながらも、とても歓迎されたと感じました。

日本人の友達に「居合道と剣術を練習している」と言ったら、冗談に「おじいさんみたい」と言われました。それにホストファミリーのお母さんと一緒に温泉に行った時「あなたは男性用お風呂に入らなくちゃ行けないんじゃないの？」と冗談で言われました。

日本では居合道も剣術も、ほとんど年上の世代にしか価値を認められておらず、かつ、男性だけの活動だと思われるようです。この古い武術にはまだ昔の日本の文化と伝統が残っているので、非常に残念だと思うしかありません。若い日本人にも外国人にもこれからどんどん参加してほしい武術ですから。

ご静聴ありがとうございました。